

活動実績調書

(1) 活動の名称	IT講習会～瀬戸でITを学ぼう～
(2) 活動の目的・成果 (※何を目指し、何が成果として得られたかについて記載)	
<p>急激な情報化社会が進み、ITが使える人と使えない人との間に生じる情報格差＝デジタルデバインド問題を解消するために、瀬戸市の高齢者を対象としたIT講習会を開催しました。瀬戸市民のITリテラシーの向上を図るとともに、私たち学生も普段経験することの少ない講師やアシスタントという立場という貴重な活動が出来ました。全講習を終えて行ったアンケート結果では、約93%の受講者の方から高い満足度を得ることが出来ました。</p>	
(3) 活動の実施内容 (※活動の実施方法、時期、場所、回数、市民等への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	
<p>IT講習会～瀬戸でITを学ぼう～</p> <p>日時 9月6日～9月9日の4日間で計9回実施</p> <p>場所 名古屋学院大学 瀬戸キャンパス (瀬戸市上品野町1350)</p> <p>周知方法 「広報せと」8月1日号に掲載していただき宣伝出来たので、募集後一週間以内で締め切り</p> <p>参加人数 学生 受講者30人/1回</p> <p>内容 瀬戸市の高齢者を対象にIT講習会を開催。講座としてはタブレットの基礎知識から、wordでの年賀状の作成や、Excelを用いた家計簿の作成、JTrimでの画像編集、SNSのティーチングを行った。</p>	
(4) 活動実施上の工夫 (※活動の趣旨・目的達成のため、特に創意工夫した点について記載)	
<p>受講者によって習熟度が異なるため、受講者ひとりひとりに学生がティーチングアシスタントとしてつくマンツーマン体制で講習会に臨みました。また、講師役の学生は事前に授業内容を吟味し、より受講者の方に満足していただけるよう努めました。講習を終えて、受講者の方が復習出来るように学生で協力し独自に教科書を作成しました。</p>	
(5) 活動実施上の反省点 (※具体的な反省点等について記載)	
<p>本年度のアンケート結果 (普段SNSを使う機会がないので難しい。アプリケーションが難しかった。)より、次年度ではもう一度講習内容を練り直し、より受講者の方々が理解しやすい内容に改善していきたいと考えています。</p>	